

当院のシンボルマークは、患者さまに対する「まごころ」を漢字の「心」で表現しています。

まごころ

MAGOKORO



地方独立行政法人

下関市立市民病院

SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

2025年 vol.48



▲新人看護師が一年間の研修を無事終えました。今後の活躍が期待されます。どうぞよろしくお願いいたします。

特集 看護師がつなぐ、これからの医療

お知らせ 下関市立大学包括連携に関する協定締結 ほか
もっと知りたい 総合診療科
地域の絆 地域医療連携の会開催のご報告

2025.3.1 下関市立市民病院広報年報委員会発行

下関市立市民病院

基本理念
安心の優しい医療を提供し、
市民から信頼される病院を目指します

基本方針

- 市民のニーズに応じた最善の医療を提供します。
- 重点診療項目として、悪性疾患、救急及び生活習慣病に取り組みます。
- 安定した健全な病院経営を目指します。

これからの医療

これまで以上に看護師の役割は大きくなっています。また、地域医療構想に基づき、大きな変化ニーズに柔軟に対応できる。」を掲げてます。これからの時代の活躍を期待される2024年度介いたします。

Q1
今どんな業務を担当されているか教えてください

1年目なので先輩看護師に色々教わりながら、日々、患者さまの情報収集や処置、ケアを行っています。
5階東病棟は外科系病棟で手術もあり、手術前は不安な方も多いので、しっかりお話を聞いたり、わかりやすい説明をこころがけています。また、術前は色々な処置があるのでしっかり説明をしながら行って



います。安心して手術室入室いただけるよう支援します。手術後はドレーンが入っていたり点滴が増えていたり、痛みが強い方もいらっしゃる。ことから、慎重に全身状態の観察を行います。

Q2
看護師になろうと思ったきっかけを教えてください

誰かのためになる仕事がしたいと思っており、小さい頃から看護師に

Q3
今後の目標を教えてください

まだまだ未熟な部分も多いので、先輩看護師を見習い、日々学習を続けていきたいと思えます。そして笑顔忘れず、患者さまとご家族に寄り添い、信頼してもらえらる看護を行ってまいります。

5階東病棟勤務
看護師 橋本 佑奈

看護師がつなぐ、

特集

2024年4月より、医師の働き方改革の新制度が施行され、これを迎えようとしています。

当院では、目指す看護師増の一つとして「変化する社会の」に入職し1年間の研修を終えた看護師と教育担当者をご紹介



Q1

プリセプターとして1年指導されてどうでしたか？

プリセプターとしては年の差があるので、指導する前は一緒に考えた
りすることが難しいのではないかと、
困ったときに相談しにくいのではないかと
いかとも思いました。しかし、頑
張ってついてきてくれて成長を実感
することができました。

Q2

指導される際に気を付けていることを教えてください

自分が言っていることが伝わって
いるか、一方的になっていないかを
気をつけて関わりました。
新人が話しかけやすい雰囲気では
し、こちらからも率先して声をかけ
るようにして指導にあたりました。

Q3

どんな看護師になってほしいと思っ
ていますか？

1年目から笑顔が素敵で患者さま
に思いやりの心を持って接すること
ができていますので、このまま笑顔で
寄り添った看護ができる看護師に
なってほしいと思っています。

※プリセプターとは、新人看護師の
教育、指導を行う先輩看護師です。

5階東病棟勤務
副主任 藤井 恵子

下関市立大学と包括 連携に関する協定を 締結しました



▲協定書を交わす下関市立大学の韓昌完学長(左)と田中雅夫院長(右)

2025年4月に下関市立大学が看護学部を新設することに伴い、看護専門職者をはじめとする医療保健福祉分野の人材育成において、相互に包括的に連携・協力した取組等を行うことにより、地域医療の発展に寄与することを目的として、2024年11月28日(木)、下関市立大学と包括連携協定を締結しました。

全国的に看護師の確保が困難となる中、当院と大学がお互いの強みを活かしながら、ともに地域医療の現場で活躍できる優れた看護師を育成し、市内定着を図ることで、地域医

療の発展に貢献していきたいと考えております。

下関市立大学のご挨拶

下関市立大学の韓昌完学長から、「地域医療を担う人材の確保は、全国的にも世界レベルにおいても極めて重要であるが、下関市は、全国中核市の中で2番目の高齢化率であり、看護人材の育成や確保は喫緊の課題である。この度、下関市立大学に看護学部を創設し、下関市立市民病院と包括的に協力することで、専門性の高い人材の育成、地域医療の確保、少子高齢化などに対応すべく取り組んでいきたい。」とのご挨拶をいただきました。次いで、下関市立大学の中嶋恵美子学部長予定者より、「下関市立市民病院との包括協定を嬉しく思う。医療現場での臨地実習や現役の医療従事者をゲストスピーカーとして迎え、直接講義などを受けられることは、学生にとって大変良い刺激となる。大学としても、市民病院に対して教育資源の提供や卒業研修などに協力していきたい。市民の健康を守る看護人材として、市民病院と協力し、下関市の医療に貢献していきたい。」とのご挨拶をいただきました。

下関市立市民病院のご挨拶

当院長田中雅夫からは「下関市立大学に看護学部が創設されることにより、このようなご縁をいただけたことに感謝するとともに、今後の地域医療を担う人材育成のために、精一杯協力させていただく。地元の公立大学に看護学部があることは大変貴重である。当院は数年後に、新築移転を予定しており、患者さんのもとより、医療人にとっても働きやすく、魅力ある病院となるよう取り組んでいるところである。今後は、下関市の医療発展のため、新設される看護学部だけでなく、先に創設されたデータサイエンス学部とも協力関係を築き医療DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進にも取り組んでいきたい。」と挨拶しました。

当院看護部長坂本由紀子から「下関市立大学との包括連携協定を大変嬉しく光栄に思う。看護学部が下関市立大学に創設されることは大変意義があると感じている。実際の看護現場を当院で体験・学習し、活用していただきたい。病院としてもできる限りの支援をさせていただく。病院職員にとっても大変良い刺激になると期待している。」と挨拶しました。



医療安全・感染管理 合同キャンペーン

入賞作品発表

標語・川柳・ポスター

感染管理部門

医療安全部門

職員の一部・最優秀賞
「1プッシュ」
誰もが使える
必殺技

一般の部・特別賞
手洗いがいは
感染予防の
第一歩

一般の部・最優秀賞
手洗いで
笑顔と安心
手に入れる



最優秀賞

職員の一部・最優秀賞
分かるまで
間こう話そう
伝えよう

一般の部・特別賞
「だろっ」では
人の命は
守れない

一般の部・最優秀賞
したつもり
つもり積もって
事故のもと



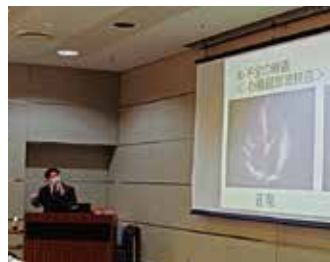
最優秀賞

2024年11月5日(火)～12月6日(金)を医療安全・手指衛生推進月間としておりました。

「患者さまと歩む医療安全・感染管理」をテーマに10月1日(火)～10月30日(水)で医療安全・手指衛生に関する標語・川柳・ポスターを募集し、医療安全154点・感染管理141点 合計295点の応募をいただきました。たくさんのご応募ありがとうございました。投票により、入賞作品を決定し、11月27日に表彰式を行いました。入賞作品は当院ホームページに掲載しております。

令和6年度第2回

市民公開講座を開催しました



2025年2月15日(土) 当院において、市民公開講座を開催しました。

今年度第2回目となる今回は、「これって心臓病?～心不全や狭心症について～」と題して、当院の野田裕^{のだひろ}剛循環器内科医長による講演を行いました。多くの方からお申込みをいただきまして、あらためて市民の皆さまの健康に対する関心の高さに驚かされました。当日は、106名の市民の皆さまにお越しいただき、大盛況のうちに幕を閉じることができました。ご来場いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

次回の市民公開講座の日時等は、決定次第、当院ホームページ等でお伝えいたします。

当院で働く職員を紹介します。

もっと
知りたい。

総合診療科



総合診療科 部長
なかつか あきお
中塚 昭男

総合診療科は2023年9月に総合診療科部長として中塚昭男医師を迎え新設されました。2024年11月13日に行われた地域医療連携の会で当院診療科の取り組みの一つとして総合診療科を紹介いたしました。当日の内容から改めて総合診療科についてご紹介させていただきます。

担当医師の紹介

中塚昭男総合診療科部長は、下関市立中央病院（現在の下関市立市民

Off-the-Job Training
インストラクターとして

各種トレーニングコース

- ・JPTEC (Japan Prehospital Trauma Evaluation and Care : 外傷初期診療)
- ・MCLS (Mass Casualty Life Support : 多数傷病者への対応標準化トレーニングコース)
- ・PMEC (Prehospital Emergency Medical Evaluation and Care : 疾病(内因性) 傷病者に対する病院前救護活動の標準化をめざしたもの)
- ・PTLS (Primary-care Trauma Life Support : 医師・看護師向け 外傷救急初期診療講習会)
- ・ATOM (Advanced Trauma Operative Management : 外傷外科トレーニングコース)

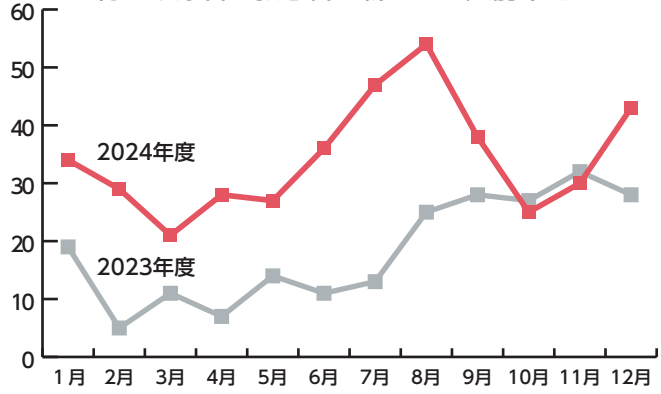
病院)で生まれ、下関市内で育ち九州大学医学部に進学、1993年に医師免許を取得後は九州大病院及び関連病院の消化器・一般外科からはじまり救急・外傷・集中治療などの診療に従事されています。当院に赴任するまでは73床の2次医療機関で総合診療・救急を担当されていましたが、田中院長からの招聘に応じ、当院で総合診療科部長として勤務しています。また、Off the Job Training (職場外で行うセミナーや研修)のインストラクターも務められています。

総合診療科はどんな診療科？

当院の総合診療科は救急センター内で救急科と協力しながら救急搬送患者の初期診療など幅広い診療を行っています。

総合診療科は現在一人の診療科ではありませんが、救急医として、救急科と協力し、救急搬送患者の初期対応、総合診療医として、紹介患者、飛び込みWalk-in患者の初期対応を行っています。お困りの症例がありましたらご相談ください。

総合診療科・救急科の新患者数前年比



▲2023年9月以降、新患者数が増加傾向にあります。



看護部長
さかもと ゆきこ
坂本 由紀子



▲連携協定調印式に出席しました。

下関市立大学に看護学部ができることを大変喜ばしく思っております。このたびの連携協定を結ぶことによって、病院実習の受け入れをはじめ、様々な場面で協力する予定となっております。地域社会に貢献できる看護専門職者育成の一助となれば幸いです。

また、この連携協定がこれからの地域社会に貢献する看護専門職者を育成するのみならず、現役の看護師にとっても、研修や研究の学びの場が広がることを期待しております。

専門職業人として看護師は、常に医療の進歩に応じて、知識、技術の研鑽が必要な職業です。お互いにとって良い刺激となるように連携してまいります。

地域の絆

当院と連携している医療機関等を紹介します。
登録医の先生と当院とは、患者さまの病状に合わせた治療が行えるよう、密接な関係をつくっています。

下関市立市民病院 地域連携室

電話：083-224-3860 FAX：083-224-3861

令和6年度地域医療連携の会を開催しました



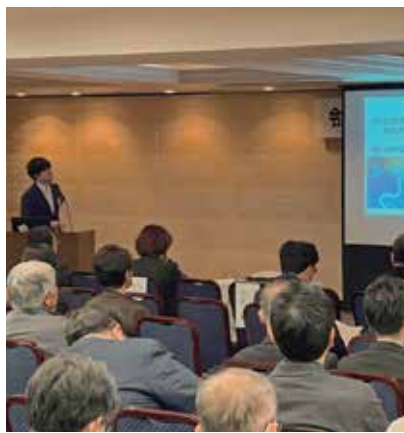
うえの やすたか
▲上野安孝副院長より当院の概要をご紹介いたしました。



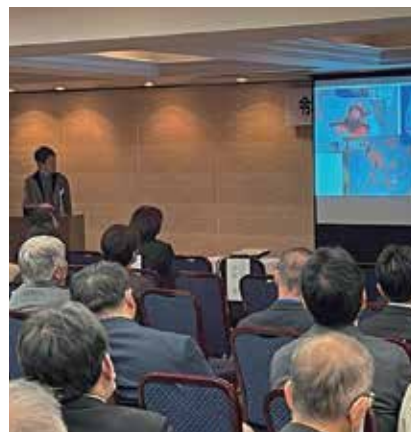
▲会に先立ち田中雅夫院長よりお集まりいただいた方へ挨拶を申し上げます。



▲総合診療科紹介に登壇した中塚昭男部長



やました そうじろう
▲脳神経外科紹介に登壇した山下壮二朗医長



あり ま たけし
▲循環器内科紹介に登壇した有馬岳史医長

今後も、地域医療支援病院として役割を果たせるように努めてまいります。

今年度は病院の取り組みとして、循環器内科、脳神経外科、総合診療科をご紹介いたしました。
実際の症例とともに、循環器内科はリードレスペースメーカー、クライオアブレーション、脳神経外科は、開頭クリッピング術、コイル塞栓術、総合診療科は部長である中塚が今までに取り扱った救急外傷症例などをご紹介します。

地域医療連携の会は当院と連携体制にある登録医の先生方、医療関係者の方々と連携強化を図るための取り組みの一つとして行っております。
普段、顔を合わせる機会が少ない登録医の先生方、医療関係者の方々と直接顔を合わせることができこの機会に、改めて病院の概要、取り組みをご紹介し、終了後はお時間は限られておりましたが、親睦を深めていただきました。

2024年11月13日(水)、下関市立市民病院地域医療連携の会を開催しました。

外来診療のご案内

2025年 4月1日現在 (※)…非常勤医師

診療科		曜日	月	火	水	木	金
総合診療科			中塚 昭男	中塚 昭男	中塚 昭男	中塚 昭男	中塚 昭男
内科・消化器内科			保利 喜史(※)		森下 寿文(午前)		森下 寿文(午前)
内科・呼吸器内科			真鍋 大樹(※)(午前)				鳥井 亮(※)(午前)
内科・循環器内科			金子 武生/野田 裕剛(※)	金子 武生	安田 潮人/岸川 馨一郎	辛島 詠士	辛島 詠士/有馬 岳史(午前)
禁煙外来(午後・予約制)							有馬 岳史
内科・腎臓内科				坂井 尚二/高津 利幸	岩村 香菜子(※)(第1・第3・第5) 岩村 成路(※)(第2・第4)	中村 芙美	
内科・血液内科				久保 安孝		久保 安孝	
内科 リウマチ膠原病内科			大田 俊一郎 久志本 和郎 (地域連携室 紹介のみ)	大田 俊一郎 (地域連携室 紹介のみ)	大田 俊一郎 久志本 和郎	木村 光一(※)(午前)	大田 俊一郎 久志本 和郎
糖尿病内分泌代謝内科			山田 健太郎	小丸 倫子	吉森章人	山田 健太郎	小丸 倫子
神経内科(午前中・予約制)					本田 真也(※)		
精神科					朴 成祐(※)午前		
心臓血管外科				上野 安孝/木村 聡		上野 安孝/栗栖 和宏	
外科	午前		萱島 理/宮竹 英志 中原 千尋	松下 章次郎 中原 千尋	大谷 和広 宮竹 英志	萱島 理 木幡 亮	松下 章次郎 大谷 和広
		午後	院長外来(院外紹介) 萱島 理/宮竹 英志 乳腺外来(第3) 白見 政一郎(※)	乳腺外来 松下 章次郎 中原 千尋	大谷 和広	ス टीम外来(第2・第4) 萱島 理 木幡 亮	乳腺外来 松下 章次郎 大谷 和広
	呼吸器・抗酸菌症外来(呼吸器外科)		吉田 順一(要相談)	吉田 順一(要相談)	吉田 順一(要相談)	吉田 順一(要相談)	吉田 順一
呼吸器腫瘍センター(呼吸器外科)				井上 政昭		井上 政昭 水内 寛	名部 裕介
脳神経外科			尾中 貞夫(午前)	香野 草太(午前)	尾中 貞夫(午前) 香野 草太(第3午前)		尾中 貞夫(午前) 香野 草太(午前)
整形外科	再診		白崎 圭伍 濱 大輝	石津 研弥 鈴木 湧貴	飯田 圭一郎 石津 研弥/甲斐 久禎	飯田 圭一郎 太田 浩二/原田 岳(※)	渡邊 哲也(午後)/高見 章久 白澤 建蔵(※)
	新患		太田 浩二 白崎 圭伍/甲斐 久禎	渡邊 哲也 石津 研弥/濱 大輝	飯田 圭一郎 石津 研弥/高見 章久	飯田 圭一郎 白崎 圭伍	鈴木 湧貴
皮膚科	一診(初診)		志茂 麗子	平儀野 剛	吉弘 悟	平儀野 剛	志茂 麗子
	二診(予約のみ)		平儀野 剛	吉弘 悟	志茂 麗子	吉弘 悟	吉弘 悟
眼科			村田 晃彦	村田 晃彦	村田 晃彦	村田 晃彦 ロービジョン外来(第4午後)	村田 晃彦
放射線診断科				山砥 茂也			
放射線治療科			有賀 美佐子	有賀 美佐子	有賀 美佐子	有賀 美佐子(午前) 上田 和志(※)(午後)	有賀 美佐子
小児外科					九大派遣医師(※)	中村 晶俊(※)(第2・第4午後)	
産婦人科	午前(一般外来)		前田 博敬	前田 博敬	前田 博敬	前田 博敬	
	午後(更年期外来)			前田 博敬(予約のみ)			
疼痛外来 ペインクリニック内科	午前			藤原 義樹(※)			藤原 義樹(※)
	午後			藤原 義樹(※) 午後の外来は13~14時受付			門脇 史宜(※)
皮膚科				久本 岳史(※)(午前)			専徳 健太(※)(午前)
耳鼻咽喉科			平 俊明 宮崎 孝	平 俊明 九大派遣医師(※)	平 俊明 宮崎 孝	平 俊明 宮崎 孝	平 俊明 宮崎 孝
歯科・歯科口腔外科			上原 雅隆 西川 健	上原 雅隆/西川 健 長畑 佐和子	上原 雅隆 西川 健	上原 雅隆/西川 健 長畑 佐和子	上原 雅隆 西川 健
緩和ケア外来						宮竹 英志(午前中)(予約制)	
救急科(午前・午後)			中原 千尋/尾中 貞夫 中塚 昭男	尾中 貞夫	中原 千尋	中原 千尋/尾中 貞夫 中塚 昭男	中原 千尋/中塚 昭男 木幡 亮

- ◆糖尿病教室 (要予約：内科外来にお問い合わせください。)
- ◆ペースメーカー外来 (内科外来：要予約) 毎月第3月曜日13:00~15:00 (第3月曜日が休日の場合は第4月曜日)
- ◆ロービジョン外来 (眼科外来：要予約) 視覚に障害があるため生活に何らかの支障を来している方への支援
- ◆整形外科は再診・新患ともに完全予約制です。急患はご相談ください。

病院ホームページは
こちらから



地方独立行政法人
下関市立市民病院
SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

〒750-8520 下関市向洋町一丁目13番1号
TEL:083-231-4111(代表) FAX:083-224-3838
ホームページアドレス <https://shimonosekicity-hosp.jp/>
地域連携室(紹介予約) 専用TEL:083-224-3860 専用FAX:083-224-3861



禁煙外来を行っています。当院は敷地内禁煙です。ご協力をお願いします。